

防 衛 大 臣 浜田 靖一 殿
百里基地司令空将補 石村 尚久 殿

百里基地での日米共同訓練の中止を求めます

11月10日～18日までの日程で、航空自衛隊百里基地での日米共同訓練が計画されています。米軍再編に伴う百里基地での日米共同訓練の実施は今回で11回目であり、訓練規模では今回で7回目となるタイプII訓練であり、米軍側の参加規模は130名程度となっています。

さらに、今回は日米共同訓練とほぼ同じ日程で、2年毎に大規模で実施される「日米共同統合演習（実働演習）」も10日（木）～19日（土）の期間で実施することが明らかとなり、12日（土）は百里基地所属の戦闘機も大規模訓練に参加します。また、来年1月にはインド空軍との共同訓練もあると言われています。

今年に入り百里基地では、3月にオーストラリア軍との部隊間交流、9月はドイツ空軍との共同訓練、さらには10月27日、28日には百里基地で初めてのF2機の昼夜連続訓練が実施され、百里基地を拠点とした他国との共同訓練等の実施が拡大しています。

日米共同訓練をはじめ、他国との共同訓練の拡大は、「専守防衛」を踏み超え、他国との軍事一体化を図り、集団的自衛権行使を準備するものです。日米共同訓練実施は、そのものがアジアに軍事的な緊張をもたらすものであり、即刻中止すべきです。

近年、国内での日米共同軍事演習が増加する中で、米軍機の緊急着陸、部品落下事故などが頻繁に発生しています。昨年11月にも三沢基地所属の米空軍F16戦闘機が、青森空港に緊急着陸する前に燃料タンク2個を投棄し、1個を住宅街に落とす事故がありました。部品等がもし人家に落下した場合は人命に関わる大惨事にもつながるものであり、百里基地周辺住民も事故等の危険にさらされることは言うまでもありません。

このような事故の危険性だけでなく、平日の訓練でも基地周辺の住民は爆音被害を受けています。地元小美玉市も市議会と一体で「騒音を減らしてほしい」という要望書を何度も提出しています。

日米共同訓練が実施されれば、さらに爆音被害による住民負担が増大されることになり、これ以上の基地負担は許すことができません。

つきましては、日米共同訓練の実施に対して、下記を申入れます。

記

一、日米共同訓練を中止し、基地周辺住民の負担を軽減させること。

以上

2022年11月9日

申入れ団体：百里基地反対連絡協議会

百里基地反対同盟/ 百里弁護団/ 茨城平和擁護県民会議/ 茨城県平和委員会/ 農民運動茨城県連合会/ 社会民主党茨城県連合/ 日本共産党茨城県委員会/ 新社会党茨城県本部